

人と人をつなぐ結節点となり、
全ての人に「居場所」と「出番」を創出するため、
令和7年度から

「地域コミュニティHub」を設置しています。
(各区役所・支所に「区Hub」、
京都市役所に「市Hub」を設置。)

組織の垣根を越えて、地域の多様な主体の
「つながり」や「むすびつき」を形成・促進する中で、
つながり・支え合うコミュニティ形成を
支援するものです。

今年度は、特に、同じく新京都戦略に掲げる、
区役所庁舎や図書館等の公共空間をまちに開く中で、
気軽につどい・つながり・交ざり合う機会を
創出するプロジェクトと連携して取り組んでいます。

突き抜ける世界都市 京都の実現に向け 市の組織体制を強化します

3月に策定した新京都戦略に掲げる施策を
着実に推進するため、市の体制を充実・強化します。
ここでは、その主な内容を紹介しします。

問合せ 人事課 TEL222-3232 FAX213-3803

3つの重要なポイント

**1 新たな京都を切り拓く
「攻めの都市経営」を推進**

- 市の将来を見据えた都市政策・まちづくりを市役所全体で推進
- スタートアップの創出・成長促進や地域企業の持続的な発展を推進
- 国内外の多様な企業・人材との交ざり合いや新しい価値の創出を推進

↓

ココが変わります!

「スタートアップ・産学連携推進室」「地域企業振興室」「国際都市共創推進室」の設置など。

**2 市民のいのちと暮らしを守り
多様な主体がつながり・
支え合うまちづくりを推進**

- ケアラーをはじめとする、複雑化・複合化した社会的な課題に対する支援を強化
- より良い医療の安定的な提供に向けて市立病院の経営基盤を強化
- 地域のつながり・むすびつきの形成を一層促進するため区役所・支所の機能を強化

↓

ココが変わります!

「福祉のまちづくり推進室」「ケアラー支援推進プロジェクトチーム」の設置など。

**3 政策を支える戦略的な
行政運営を推進**

- 市政全般にわたる政策の企画立案や、部署をまたぐ連携・調整機能を強化
- 職員のしごとの仕方を政策本位で創造的なものへ変革

↓

ココが変わります!

「しごとの仕方改革推進室」の設置など。

区役所・支所の機能強化の取り組みの1つとして、地域コミュニティHubを設置!

地域コミュニティHubとは
部署の垣根を越えて、さまざまな職員で構成されるチームのこと。市民の皆さまや地域の多様な活動主体など、「ヒト・モノ・コト」をつなぐ結節点として、互いにつながり・支え合うコミュニティ形成を支援します。

区役所・支所には「区Hub」を、京都市役所には「市Hub」を設置します。



【地域コミュニティHubのイメージ図】



新体制について、詳しくはHPをご確認ください。



地域コミュニティHubの取組状況について(一例)

<右京区>

○ひとめひとめ×MACHIKO

SANSA右京1階のまちづくり交流拠点「MACHIKO」にて、手芸を通じた居場所がスタート。月1～2回程度の実施で、共通の話題で会話が弾んだり、お互いの作品を見せ合ったりしてアドバイスし合ったりするなど、自然な形で交流が深まっています。



○京都市ユースサービス協会×MACHIKO

「MACHIKO」の夜間利用が可能となったことで、「右京ユースセンター in MACHIKO」がスタート。月3回の実施で、若者が定期的に集まれる場となっています。



○その他(SANSA交共プロジェクト)

SANSA右京を舞台に区民の方が親しみと愛着を持つきっかけとなるような社会実験を多様な主体と手を取り合いながら実施しています。



夏休み限定自習室



SANSAでプラレール



SANSAでSANGAを応援

<醍醐支所>

○「醍醐まちづくりカフェ」の開催

醍醐地域のまちづくりに興味・関心のある方々が集い、やってみたいこと等について、ワークショップ形式で気軽に話し合う場です。今年度は計3回開催し、毎回30程度の個人・団体が参加。この場が「つながり」のきっかけとなり、団体間のコラボ企画も生まれています。



パセオ・ダイゴロー



折戸公園



○「つながるプラットフォームMeeting」の開催

まちづくりと福祉の出会いから、地域における新たな活動や展開の創発を目指して、多様な主体が分野を越えて出会い、交流する場として実施しています。

今年度は計4回開催し、毎回30名程度が参加。

地域から孤立していた介護サービス利用者が地域のコミュニティカフェに、子ども食堂に興味のあった参加者が子ども食堂を実施しているボランティアグループにつながるなど、この場からのつながりも生まれ始めています。



醍醐支所駐車場



醍醐支所屋上